

05 年度卒研テーマ

氏名	テーマ
池田 芳紀	事例ベース推論を用いた雪氷作業指示支援システム <ul style="list-style-type: none"> ・ 都市内の除雪作業車／員の配置計画を、過去の類似状況の事例をもとに作成する、事例ベース型除雪作業計画立案支援システム ・ 立案支援だけでなく、除雪車両の現在位置や進捗管理も GIS（地図情報システム）で支援 ・ 現状の問題点を整理するために、札幌市の担当者に雪氷作業の現状と課題をヒヤリング
市川 加奈子	方向音痴のドライバーのための予行演習システム <ul style="list-style-type: none"> ・ カーナビがあっても使い切れない人（方向音痴の人など）を対象に、事前に走行ルートの仮想走行を経験でき、交差点の曲がり方やランドマークについて適切なアドバイスを与えてくれるシステム ・ 被験者に方向音痴度を計れるアンケート（認知科学の知見）を実施 ・ 南草津の道路のビデオを撮影し、被験者実験を実施
鈴木 優子	防災対策立案支援～家庭用 DIG システム “A-DIG” による防災教育～ <ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭内から避難所までの避難ルートに関する注意事項などを家族で整理できる電子化 DIG システム ・ 家庭内：防災用品の収納場所、危険箇所などの整理の支援 ・ 地域：避難所までの危険箇所などを GIS 上で整理 ・ 家庭内での避難準備状況に関する Web 上でのアンケート実施
須田 健介	トラブル事例と電子化防災マニュアルによる地域防災教育訓練システム <ul style="list-style-type: none"> ・ 実際に自治体職員が遭遇したトラブル事例を電子化し、電子化した自治体の防災マニュアルから参照できるとともに、教育的に利用できるようにしたシステム ・ 正解のない問題を考える上、他者の回答を参照できるようにし、また、他者回答を見て回答を変更した回答者数などの情報も提供 ・ 個人のメモ（公開／非公開）を防災マニュアルに貼れるようにした
千田 恭平	マルチエージェントを用いたローカルエリア避難誘導方法の研究 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地下街などでの避難誘導を行うマルチエージェント型避難誘導システムを検討し、その有効性を計算機シミュレーションで示す ・ 各エージェントは各出口周辺の情報を管理、相互に情報交換して状況認識 ・ 20 度の角度内にしか聞こえない超指向性スピーカを用いて、各エージェントがローカルな避難誘導アナウンスを作成し放送
土江 雅人	津波避難時の道路交通のシミュレーション評価 <ul style="list-style-type: none"> ・ 大阪湾南部地域を例として、津波到来時の車での避難行動を計算機シミュレーションで予想し、混乱の発生可能性などを検討する ・ 地区人口、車保有台数、幹線道路通行量などの統計情報を集め、できるだけ実態に沿ったモデルを構築 ・ 地区と幹線道路に分けてモデル化した点に特徴
野口 洋平	シナリオに基づく津波来襲時の住民避難行動シミュレーション <ul style="list-style-type: none"> ・ 高石市を例に、津波到来時の住民の避難行動パターンをモデル化し、それらが相互にどのような影響を与え合うかを計算機シミュレーションする ・ 災害時行動に関するアンケート調査を実施し、行動パターンを分類・モデル化した
橋本 克哉	コミュニティ情報を利用した思い出の管理手法の提案 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の思い出を計算機上で効果的に管理する枠組みを検討し、他者に自分の思い出を語るための支援システムとして利用する ・ ライフストーリーを構成しているコミュニティの情報とそのメンバーの情報を集合論的に表現した帰属集団モデルを構築し、思い出整理のベースとする
前田 恵理	土地勘のない場所で被災した人の支援方法の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光客のように土地勘のない場所で被災した人を支援する情報システム ・ 三重県防災担当者、京都市タクシー協会などに対策の現状をヒヤリング ・ 観光客被災に関する新聞記事をデータベース化 ・ 京都市消防からの補助として、心理学者と協同研究中
村上 賢治	災害時の企業間情報共有支援システム <ul style="list-style-type: none"> ・ BCP（ビジネス継続計画）、企業防災の一貫として、災害時に企業が Web 上で情報を提供しあうためのネットワーク環境を検討 ・ 神戸市の企業や自治体の災害対策の実態についてアンケート調査し、数値化Ⅲ類で分類 ・ 土木学会関西支部の地域防災研究会のメンバーとして実施
山本 絵理香	復旧・復興時における救援物資調達支援システム <ul style="list-style-type: none"> ・ 避難所で必要となる物資について、一般的な物資についてはデータベース化しておき、個々の事例については事例ベース化しておいて、避難所が開設されたときに参照できるようにするシステム ・ 人と防災未来センターを通じて被災者に必要物資に関するアンケート実施